

「戦争は最大の人権侵害」である

先日の新聞に、東京都武蔵野市の松田春廣さん(100歳)が、徴兵検査の日に味わった「屈辱」を80年以上経った今でも覚えているという記事があった。1925年、6人兄弟の3番目に生まれて脳性麻痺で手足に不自由があり、言葉を発することにも困難があった。そのため、両親はよく松田さんを背負って映画や公園に連れていき、可愛がってくれたという。そんな生活の中、戦争が忍び寄った。1944年、徴兵検査を受けるため、父親に背負われて会場に向かったそうだ。会場の検査官には「天皇陛下のためだから」と言われ、ほかの数十人と一緒に裸になり、2時間ほどあちこちを調べられた。結果は「兵役に適さない」とされる区分の「丁種」だったそうだ。松田さんは、「それはとても恥ずかしいことであって、私は悔しい思いをした」と肢体障害者による戦争体験証言集「米食い虫、非国民とのしられながら」(全国肢体障害者団体連絡協議会2004年)で、この時のことをこう回顧している。なぜわざわざ検査を受け、「不合格」という辱めを受けなければならなかったのか。検査への疑問を何度も口にしたとのこと。戦時中には、このようなことが全国で行われたのであろうと想像する。

当時、人権というものが考えられていたのでしょうか。否である。そこには、お国の役に立つか、立たないか、そんな基準で人としての価値がはかられ、ふるい分けられたということだ。戦争は、何の恨みもない人と人が殺し合う。戦争では、戦争している理由さえ分からない子どもたちまで巻き込まれて殺される。あってはならないことが行われるのが、戦争だ。第二次世界大戦後、国際連合が結成され「世界人権宣言」が掲げられ、日本では「基本的人権の尊重」、「平和主義」、「国民主権」を軸とした「日本国憲法」が制定された。これらは、戦争の惨禍を二度と起こさないようにとつくられたものだ。そして、人間が人間らしく生きていくために必要な「人権」について規定している。

世界情勢を見ると、安易に他国を非難したり、攻撃をしたりする傾向にあると思われてならない。これでいいのだろうか、不安になる。一人ひとりが真剣に「人権」について考える時がきているのではないだろうか。ある講演会で講師から聞いた言葉を思い出す。『人権は、「家族」や「健康」などと同じく、失ってみて初めて、その大切さを実感できるものです。』しかし、失ってからでは遅いのだ。一人ひとりが、責任をもって考えていかなければならない。

(出典:朝日新聞2026年3月22日)

2026年
6月号
令和8年

公民館だより

よしい

| 吉井地区4月末人口 | 前月比 |
|------------|-------|
| 男 1,091人 | (-2人) |
| 女 1,131人 | (-6人) |
| 計 2,222人 | (-8人) |
| 世帯数 1,077戸 | (-4戸) |

発行 ▶ 西条市吉井公民館
〒799-1363 西条市玉之江235-2
TEL・FAX: (0898) 64-3001 / E-mail: yoshii-k@saijo-city.jp
WEB サイト ▶ <https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/syakaikaikyoku/yosii-index.html>



◆ 吉井小学校 交通安全教室 ◆

4月16日(木)、吉井小学校で安全ボランティア対面式と交通安全教室が行われました。警察署、交通安全協会、安全ボランティアの方々に見守られながら日々安全な登下校ができています。



◆ 赤旗を設置 ◆ 吉井地区愛護班連絡協議会では、今年も赤旗を設置しました。危険な川や水路の周辺を点検し、34か所の赤旗を交換しました。「きけん」の旗のある場所に子どもたちが近付いて遊ぶことのないよう、お声掛けをお願いします。



子どもたちの安全を守るために
できることを...

「きけん」の旗も見慣れてしまえば、風景の一部になってしまいます。普段は見落としがちな危険に目を向けるためには、日々の暮らしや自分の行動を振り返ることが大切です。

公民館協力委員会を開催

5/8(金)、令和8年度公民館協力委員会を開催しました。委員の皆様と令和8年度事業計画(案)や令和7年度事業報告について協議を行いました。

公民館が地域活性化の一助となれるよう、皆様にお力添えをいただきながら事業を実施していきたいと考えております。

今年度もよろしくお願いたします。

戦没者慰霊祭が行われました

5月3日(日)、吉井遺族会主催の吉井戦没者慰霊祭が行われました。英霊を顕彰するとともに平和の尊厳への祈りを捧げました。

ホウ酸団子づくり

4/17(金)、更生保護女性会東予支部がゴキブリの退治に使うホウ酸団子づくりを行いました。これから活動が活発になるゴキブリに効果があることを願います。



参加者募集

高齢運転者交通安全教室を開催します!

自動車を運転される高齢者の方を対象に、体験型の交通安全教室を開催します。ドライブレコーダーによる御自身の運転の再確認や急発進防止装置などを体験することができます。ぜひ、御参加ください。

- 日 程:令和8年6月29日(月)
- 時 間:午前の部 9時~12時
午後の部 13時30分~16時30分
※申込時にどちらか希望をお伝えください。
- 場 所:西条ドライビングスクール
(西条市石田284番地)
- 対 象:市内在住のおおむね65歳以上の方で、
自動車運転免許をお持ちの方
- 定 員:午前・午後でそれぞれ20人(先着順)
- 応募締切:6月18日(木)
- その他:当日は運転免許証と、
眼鏡等運転に必要なものをお持ちください

★参加無料・グッズ配布あり★

<講習内容>

- ・踏み間違い加速制御システム体験
- ・市内の交通事故発生状況説明
- ・市街地走行
(ドライブレコーダーで振り返り)

○申込先:西条市役所くらし安心課交通防犯係
TEL0897-52-1686(直通)

拠点回収BOXについて

日頃から地域の環境整備にご協力いただきありがとうございます。公民館は土日・祝日は休館ですが、小学校のプール北側にある拠点回収BOXは開いています。ルールを守ってご利用ください。

拠点回収BOXに出せるもの

- ◎新聞紙・雑誌
- ◎雑がみ・段ボール
- ◎ペットボトル
- ◎缶(飲食用)
- ◎蛍光管・体温計のみです



※回収BOXが満杯の場合は無理矢理入れないでください。



●ごみの分別について悩んだときは、まず緑色の『家庭ごみ分別ガイドブック』を参考してみてください。

ーゴミの資源化にご協力をお願いいたしますー

気温が高くなり、夏が近づいてきました。こまめに水分補給をし、熱中症対策をしましょう。

6月 行事予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------|----|---------------------|---|----------------------------|--------------|-------------------------------|
| | 1 | 2 知るを楽しむ まなび旅 | 3 びん・スプレー缶 | 4 | 5 | 6 休館 カワセミ号 10:50~11:20 |
| 7 休館 | 8 | 9 | 10 古紙 | 11 吉井カフェ 13:30~15:00 | 12 救急法講習会 | 13 休館 |
| 14 休館 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 休館 カワセミ号 10:50~11:20 |
| 21 休館 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 休館 |
| 28 休館 | 29 | 30 | ●開館日 → 毎週月~金曜日 9:00~17:00 ●休館日 → 毎週土・日曜日, 祝日, 年末年始 | | | |

石田短歌会

春雨にすくすく育つ芍薬の庭のあちこち花が待たるる
 村はずれひょうたん池を望むれば石鍬背にしてこんもりピンク
 朝なきなカーテン引きて太陽におはよう言う癖ひとりになりて
 梅・桜終はれば牡丹藤の花見に行く予定記して置きぬ

山内美佐子
 森田 薫
 徳永吉則
 相原サツキ